

## 平成27年度事業報告

本県農業を取り巻く情勢は、担い手の減少や高齢化、耕作放棄地の増加、食の安全・安心対策など多くの課題に直面している。特に本県の園芸生産は、農業産出額全体の約5割を占める重要な部門であるが、人口減少等により野菜等の消費が減退する一方、輸入青果物の増大などにより価格が低迷する中、生産資材等の高騰により生産者の所得率の低下が続いている。

県では、新たな総合計画である、「新 輝け！ちば元気プラン」を策定し、この中で、戦略的な産地強化と高収益型農林水産業への転換による「農林水産王国・千葉」の復活を目指すとともに、「農業産出額全国第2位奪還」を目標とし、農業者、JAグループなどの緊密に連携する「オール千葉」体制を構築し、国内外産地に打ち勝てる力強い産地づくりに取り組むための中心的役割として、当協会が位置づけられている。

そこで、当協会においては、平成26年4月から会員の拡大や業務の拡充、組織体制の充実など機能を大きく強化したところである。そして、この農業施策に沿って、千葉県産の品質やブランドなどを統一し、大手流通に対応していくため、県域の品目別組織づくりや販売促進活動の強化、県が育成した新品種をはじめとする優良品種の種苗安定供給体制を整備するなど、関係機関・団体と連携して種々の事業を進めてきた。

さらに、個々の経営を強化していくため、市場価格の低落に備えた野菜価格安定事業を実施するほか、担い手への農地集積、後継者育成対策、6次産業化の取組推進など、総合的な支援を行ってきた。具体的な事業内容は以下のとおりである。

### I 会議等の開催（法人運営事業）

#### 1 会議の開催

##### （1）総会の開催

ア 通常総会 平成27年6月24日（水） 千葉市：ホテルプラザ菜の花

##### （ア）議案

- ・平成26年度事業報告及び収支決算
- ・平成27年度会費額
- ・理事の選任
- ・常勤役員の報酬額

##### （イ）報告事項

- ・平成27年度事業計画及び収支予算

##### （2）理事会の開催

ア 定例理事会 平成27年6月5日（金） 千葉市：ホテルプラザ菜の花

##### （ア）新規会員の入会

##### （イ）会員の退会

##### （ウ）平成27年度通常総会の開催

##### （エ）平成27年度通常総会提出議案

##### （オ）常勤役員報酬規程の改正

##### （カ）職員の業務分担

イ 定例理事会 平成28年3月25日（金） 千葉市：ホテルプラザ菜の花

##### （ア）平成27年度予算の更正（案）

- (イ) 平成28年度事業計画（案）及び収支予算（案）
- (ウ) 次年度対応
  - ・農地中間管理事業（推進体制及び事業運営委員会の設置）
  - ・役員改選に向けて
- (エ) 報告事項
  - ・農地中間管理事業評価委員会の開催結果

### (3) 監査の実施

- ア 期 日 平成27年6月3日（水） 県庁南庁舎1階会議室
- イ 内 容 平成26年度事業報告及び収支決算

## 2 税理士による業務運営の適正化

税理士との顧問契約を行い、公益法人の適正な会計及び協会全体の運営を図った。

- (1) 顧問契約 加藤武人税理士事務所・株式会社加藤会計事務所  
(千葉県中央区新宿2-5-3)
- (2) 代表 代表取締役税理士 加藤武人（担当税理士 石毛利和）
- (3) 支援内容 会計支援、公益法人運営支援等

## 3 県実施の監査等

### (1) 平成26年度財政的援助団体等監査（地方自治法等に基づく監査制度）

財政的援助団体等監査については、県からの補助金等の財政的援助や資本金、基本金その他これに準ずるものの4分の1以上の出資を県から受けている法人を対象に実施されているもので、当協会においては平成26年度から対象団体として位置付けられているため、法令に基づく県監査委員事務局監査を受検した。

- ア 実施機関 千葉県監査委員事務局
- イ 受検年月日 平成27年12月22日（於：監査委員監査室）
- ウ 監査内容 出納その他の事務及び事業の執行状況等
- エ 監査の実施 毎年実施

### (2) 運営組織及び事業活動の状況に関する立ち入り検査

公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律に基づく立ち入り検査を受検した。

なお、当検査は3年に1度行われるもので、平成25年4月に公益法人の認定を受け3年目に当たる平成27年度において検査が実施された。

- ア 実施機関 千葉県政策法務課
- イ 受検年月日 平成28年2月4日（於：当協会事務所内）
- ウ 検査内容 公益目的事業及び機関運営の実態検査、財務状況及び会計経理の検査 等
- エ 検査の実施 3年に1度

## II 生産振興対策事業（公益目的事業1）

## 1 産地活性化促進事業

### (1) 園芸産地強化事業

国内外の産地間競争が激化する中、近年増加している量販店などの大口需要に対応するためには、個別産地の取組に加え、県内産地が戦略的に連携するオール千葉体制の販売力強化の取組が求められている。

こうした状況に対応するため、平成26年度に設置した本県の主要園芸4品目（トマト、ねぎ、にんじん、さつまいも）の各品目別協議会の活動により、出荷規格の統一の検討や販売促進活動、及び品質向上のための栽培技術改善対策などに取り組み、本県園芸農産物の生産力・販売力を強化し、他県の産地に打ち勝てる力強い産地づくりを推進した。

さらに、こうした取組を、他の品目についても広げるため、新たに、3品目（だいこん・キャベツ・きゅうり）の各品目別協議会を設置した。

#### ア 品目別協議会の運営・設置

##### (ア) トマト協議会

目標：「品質の安定化と計画的出荷による周年販売体制の強化」

目標産出額（H29）：175億円

##### 《主な活動》

##### a 適正出荷の励行と品質の向上

県産トマトの品質向上・平準化を図る第一歩として、「抑制トマト販売検討会議」を新設した。本会議は出荷期間中に3回開催し（9月、10月、11月）、市場関係者が中心となり県共通の着色度合いの決定をはじめ、他県ライバル産地の調査や県内各産地の品質チェックを行った。また、本取組の励行や県内産地間での情報共有を図るために、県内10JAによる合同目揃い会を併せて開催した。

##### b ロットの集約による高単価販売

抑制トマトの出荷が終了後、本取組の成果について主要市場にアンケートを行ったところ、主要市場の8割が県産トマトの品質が向上したと回答した。また、小売店や量販店からも本取組を評価する声が挙がった。上記の取組により、出荷されるトマトの着色度合いの均一化が図られたことから、複数産地のトマトを集約し、量販店に安定供給する取組である産地連携型販売を試行した。その結果、供給量が減少する時期においても十分な数量を確保することが可能になる等、従来では対応できなかった取組を実現することができた。また、販売単価についてもロットを確保することで従来よりも高単価で販売することができた。

##### 《今後の課題》

今後も、生産量の拡大と品質の向上を進め、販売ロットの拡大を目指した取組を継続する。

##### 《その他の活動》

・春、抑制トマトにおける合同販促（春：17店、秋：15店）

- ・ 県共通のトマト販促ポスターの作成
- ・ トマトの生産資材の展示及び研修会「ちばの園芸技術展示会」の開催



県共通着色 No の決定



春トマトの合同販促



県共通ポスター

## (イ) ねぎ協議会

目標：「省力化・効率化による規模拡大と計画出荷の実現」

目標産出額（H29）：210 億円

### 《主な活動》

#### a 実需に対応した初夏ねぎの生産・販売拡大

千葉県産ねぎは 11 月～7 月にかけて出荷されているが、5 月は出荷量が少なくなる端境期となることから、実需者が一時的に他県産の仕入れを強化してしまい、有利販売することが困難だった。市場からは、長年にわたり 5 月出荷の「初夏ねぎ」の生産拡大・販売促進を求められてきたが、単独産地ではロットの確保が難しいことや生産拡大に向けた支援等が困難であることから対応が不十分だった。そこで、産地連携により本取組の推進を図った。

#### b 栽培面積・生産量の倍増

高品質の「初夏ねぎ」を栽培するためには、2 条トンネル等による栽培が必要となるが、資材費負担が大きくなることや、収穫時期が農繁期と重なるといった課題があった。そこで、本取組を加速させるために、産地連携の趣旨に賛同し、2 条トンネルによる「初夏ねぎ」栽培を行う生産者に対して、助成措置を行った。さらに各 JA・農業事務所等による講習会や技術支援を行った結果、JA 長生、JA 山武郡市、JA ちばみどりにおいて総勢 41 名（約 2ha）が本取組を新たに実施することとなり、前年比 2 倍の出荷が見込まれている。

#### c 高単価販売

3JA が連携した取組であることを PR するために共通デザインのシール作成や量販店等で使用するスイングポップを作成した。

### 《今後の課題》

今後も、周年で県産ネギを安定的に市場に供給するため、夏ネギをはじめとする生産拡大や、出荷規格の統一化に向け取組を継続する。

### 《その他の活動》

- ・ 省力化機械（収穫機・土壌消毒機等）の実演展示会の開催（3 回）
- ・ ブランド化に向けて先進産地である栃木県の JA なすのを視察（H28. 3. 10）



**(ウ) にんじん協議会**

目標：「品質の安定化と周年販売体制の強化」

目標産出額（H29）：170 億円

《主な活動》

a 春夏にんじんの有利販売と難防除害虫の防除対策

5 月から 6 月に出荷のピークを迎える県産春夏にんじんの有利販売につなげるため、6 月の県民の日イベントとして、県内及び東京都の量販店 7 店舗において、消費拡大に向けた P R 活動を実施した。

また、近年、特に本県で被害が問題となっている、難防除害虫ヒョウタンゾウムシの防除対策に取り組んだ結果、効果の高い農薬が明らかとなり、今後、登録拡大に向け必要な試験などを行うこととなった。

b 秋冬にんじんの出荷資材統一など大口需要への対応

量販店や業務用等の大口需要に対応し、県産秋冬にんじんの有利販売につなげるため、各産地に対して出荷規格の統一化を提案したことをはじめ、11 月には、東京都中央卸売市場大田市場において、5 J A が参加して販売促進活動を実施した。また、3 J A が、合意により出荷小袋の規格とデザインの統一を図ったことにより、卸売業者などの実需者から評価が高まりつつあり、「オール千葉」での秋冬にんじんの販売体制の確立に向けた取組が広がってきた。

《今後の課題》

今後は、春夏にんじんの難防除害虫ヒョウタンゾウムシの防除対策の確立及び、秋冬にんじんの販売ロット拡大に向けた出荷規格の統一化を中心に、取組を継続する。

《その他の活動》

- ・販促資材（スイングポップ、シール）の作成・活用
- ・害虫ヒョウタンゾウムシの防除対策の検討に対する支援



春夏にんじんの PR



秋冬にんじん試食宣伝



ヒョウタンゾウムシと被害

**(エ) さつまいも協議会**

目標：「貯蔵庫の整備・活用による戦略的出荷体制の構築」

目標産出額（H29）：206 億円

《主な活動》

a 品種別の販売方法の確立・実践

焼きいも利用を中心としたさつまいも需要が拡大する中で、最大の競合産地である茨城県（JA なめがた等）に対応するために、千葉県として販売戦略を構築し、本戦略に基づいた販売プロモーションを実施した。年内はベニアズマを中心とし、さつまいもの日である 10/13 を軸に販促を行った。年明けは、焼きいも需要に対応するため、「30 日貯蔵ルール」が県内で定着した「しっとり、あまい」べにはるかを中心に活動を展開し、主要 4JA による大田市場試食宣伝の開催や（H28. 1. 26）、1～2 月における量販店（のべ 24 店舗）での販促を産地が連携して行った。

《今後の課題》

今後は、計画出荷に対応するための集出荷施設等の整備に向けた検討や、品種別の販売戦略の構築などに取り組んでいく。

《その他の活動》

- ・ 共通販促資材の作成（ポスター、リーフレット、スイングポップ）
- ・ 集出荷場整備に向けた情報収集



量販店での販促



大田市場試食宣伝



県共通ポスター

(オ) だいこん・キャベツ・きゅうり各協議会の設置

目標産出額（H29）：だいこん 160 億円、キャベツ 150 億円、きゅうり 100 億円  
上記 3 品目の協議会を設置し、今後の取組の方向性について、共通認識を  
図った。（H28. 2. 18）

《今後の取組の方向性》

- ・ 産地連携による生産技術の情報共有（各品目共通）
- ・ オール千葉の秋冬野菜の PR による有利販売（各品目共通）
- ・ 加工業務用産地の育成（だいこん、キャベツ）
- ・ 単収、品質の向上（きゅうり）

イ その他

(ア) やまといも収穫機実演会の開催（H28. 2. 6 多古町 28 名参加）

- (イ) さといも「ちば丸」のリーフレットの作成 (20,000枚 J A等に配布)
- (ウ) 水田野菜等における排水性向上機械実演会の開催 (H28.1.22 鴨川市 59名参加)
- (エ) 重粘土水田の排水対策等研修会の開催 (H28.3.2 いすみ市 107名参加)



リーフレット



排水性向上機械実演会



排水対策等研修会

## (2) 生産技術向上対策事業

### ア 第63回千葉県野菜品種審査会の開催

野菜優良品種の選定と野菜種子の品質改善を目的とした、千葉県野菜品種審査会の開催により、優良品種の普及・定着を促進し、園芸農産物の品質向上を図った。

主催：千葉県、日本種苗協会千葉県支部、(公社)千葉県園芸協会

品目	作型	実施日	ほ場地
とうもろこし	マルチ栽培	H27.7.16	農林総合研究センター 暖地園芸研究所 (館山市)
ほうれんそう	秋どり	H27.11.26	農林総合研究センター (千葉市)
にんじん	秋冬どり	H28.1.25	富里市

### イ 各種共進会の開催

生産技術の向上や園芸生産者の意欲増進を目的とした各種共進会を開催した。また、共進会の会場は一般消費者が多数来場可能な大型量販店等を利用することにより、本県園芸農産物の理解を高め、利用促進を図った。

品目	共進会名	開催期日	場所
----	------	------	----

果樹	千葉なし(幸水)味自慢コンテスト	H27. 8. 8～9	イオン津田沼店
	房総みかん美味コンテスト	H27. 11. 20	J A安房丸山支店
植木	千葉県植木共進会	H27. 10. 21～ 25	匝瑳市
花き	千葉県フラワーフェスティバル	H28. 1. 7～11	(株)三越千葉店

## ウ 種苗生産事業

県からの委託事業を受け、県内生産に適した高品質な農産物を消費者に安定的に供給するため、千葉県が育成した品種等の種苗生産に取り組んだ。

また、植木類のニーズを把握するため、生産者との意見交換会を実施した。

### (ア) 農作物原種生産事業（県委託事業）

品 目	計画数量	生産数量	配付数量
落花生	1, 640kg	1, 640kg	963kg
カンショ	3, 600本	3, 600本	3, 600本
ヤマトイモ	1, 200kg	1, 600kg	1, 600kg
サトイモ	500kg	500kg	500kg
イチゴ	1, 900本	1, 900本	1, 469本
ネギ	2, 450本	2, 500本	2, 000本
植木	2, 000本	5, 210本	3, 770本
ナシ	100本	100本	36本
ビワ台木	900本	1, 000本	900本

### (イ) 植木に係る生産者との意見交換

- ・期 日 平成27年6月11日(木)
- ・場 所 協会種苗センター
- ・出席者 8名(うち生産者4名)
- ・検討事項 増殖希望樹種、生産方法等

## エ 技術展示会の開催

本県の園芸生産の拡大を図るため、安定生産のための施設化、及び効率化・省力化が可能な機械施設等の導入に向けた技術展示を行うとともに、併せて研修会及び展示会を通じた、県内生産者と関係機関団体等との情報交換を行った。

### (ア) いちごを主体とした技術展示会

- ・期 日 平成27年10月30日(金)

- ・場 所
  - <講演会>
    - スパ&リゾート九十九里 「太陽の里」(長生郡長生村)
  - <展示会>
    - (公社)千葉県園芸協会種苗センター(長生郡長生村)
- ・実施内容
  - <講演会>
    - ・「世界のいちご事情」について
    - ・「いちご栽培の実態」について
    - ・「卸売市場における輸出への取り組み」について
  - <展示会>
    - ・メーカーによる、いちごを主体とした資材等の展示
- ・参加者数 講演会 250名 展示会出展者 35社

(イ) トマトを主体とした技術展示会

- ・期 日 平成28年2月23日(火)
- ・場 所 (公社)千葉県園芸協会種苗センター(長生郡長生村)
- ・実施内容
  - <研修会>
    - ・「大規模施設園芸における生産管理システムの構築」について
    - ・「ヨーロッパのトマト生産(収量増加対策)の現状」について
    - ・資材業者からの技術支援(展示内容の紹介)について
  - <展示会>
    - メーカーによる、トマトを主体とした資材等の展示
- ・参加者数 研修会 150名 展示会出展者 41社

**オ 果実等生産出荷安定対策**

県内果樹園経営の安定的発展のため、果樹産地構造改革計画に基づき、産地自らが行う改植、園地の基盤整備等の取組に対して、果樹経営支援対策事業を活用し、支援した。また、なし剪定枝を活用する取組を検討した。

(ア) 果樹経営支援対策事業の取組産地と取組内容

- ・産 地：一宮・岬梨組合
- ・内 容：優良品種への改植(5件 2,711㎡ 690千円)及び未収益期間に対する支援(862千円)
- ・産 地：三芳柑橘組合
- ・内 容：優良品種への改植(2件 1,000㎡ 220千円)及び未収益期間に対する支援(200千円)

(イ) なし剪定枝処理に関する取組

林野庁のガイドラインに従い、なし剪定枝を、発電用再生可能エネルギーと

して活用する仕組みの構築に向けて、先行している林業関係の事例を調査した。

- ・内 容：バイオマスの証明に係る事業者認定事業調査
- ・期 日：平成27年5月1日
- ・調査先：一般社団法人千葉県木材振興協会

## カ 表彰事業

県域でのコンクールをはじめ、県内各地域で開催される園芸品目対象の共進会や県民参加型のコンテスト等、公益的に広く開催されるものに対し、会長賞を交付することにより、園芸品目の奨励を図った。

### ・公益社団法人千葉県園芸協会会長賞交付実績（17点）

共進会、コンクール名称	場 所	開催日
千葉県温室びわ共進会	J A安房富浦支店	H27. 5. 1～2
富里市産業まつりすいか共進会	富里中央公民館	H27. 6. 13
横芝光町夏期農業改良共進会	横芝光町体育館	H27. 6. 19
市原市農業振興協会	アリオ市原会議室	H27. 8. 1
千葉なし味自慢コンテスト	イオン津田沼	H27. 8. 8～9
第30回八千代市園芸農産物 (梨・豊水の部) 共進会	イオン八千代緑が丘店	H27. 9. 12
第43回千葉県植木共進会	(株)八日市場植木センター	H27. 10. 21～ 11. 1
第35回八千代市園芸農産物共進会	八千代市農業協同組合	H27. 10. 24
第48回船橋市農水産祭農産品評会	船橋市地方卸売市場	H27. 11. 7
市原市農林業まつり農林水産物共進会	市原市消防局	H27. 11. 13～14
横芝光町産業まつり農業改良共進会	横芝光町体育館	H27. 11. 14
J Aきみつ農業まつり農畜産物品評会	君津市みのわ運動公園	H27. 11. 19～21
房総みかん美味コンテスト	安房農協丸山支店	H27. 11. 20
八街市産業まつり農産物共進会	市立八街中学校体育館	H27. 11. 21～22
第36回千葉県フラワーフェスティバル花き共進会	(株)三越伊勢丹千葉店	H28. 1. 7～11
第4回千葉県高校生 フラワーデザインコンテスト	千葉三越 千葉県フラワーフェスティバル会場	H28. 1. 9
第55回千葉県青年農業者会議	千葉県教育会館	H28. 1. 26

### (3) 担い手支援対策

千葉県青年農業者等育成センターとして、青年農業者の確保・育成に向け、関係

機関、農業団体等と連携して、就農支援活動を効果的に進めるとともに、就農相談員を設置し、就農相談や就農者交流会を実施した。

また、平成 27 年 1 月に農業無料職業紹介所の認可を取得し、4 月より農業法人等の求人情報収集や就農希望者への就職斡旋を開始した。

#### ア 新規就農支援活動連絡協議会の開催

青年等の就農促進を円滑に進めることを目的として、県内の関係機関・団体が密接に連携できるよう、各方面の就農関連情報の共有を図った。

・平成 27 年 5 月 27 日 会場：千葉市

#### イ 就農相談活動

(ア) 相談実績総数：相談件数 244 件、相談者数 213 名

(イ) 新・農業人フェア相談会への参加

計 4 回 (H27. 7. 11・10. 3・12. 12・H28. 2. 13) 会場：東京

相談者数：159 名

(ウ) 千葉県農林水産就業相談会

平成 27 年 11 月 23 日(月) 会場：千葉市 相談者数：47 名 (内農業大学校の農業者養成研修へ 2 名、相談継続 1 名)

#### ウ 千葉県認定就農者交流会の開催

県内の認定就農者が一堂に会し、先輩大規模経営者の話を聞くとともに、栽培形態毎のグループ討議を通じて情報交換や課題について話し合うなど、認定就農者間のネットワークづくりを図った。

・平成 27 年 8 月 18 日 会場：千葉市

参加者：認定就農者 21 名、関係機関併せて 34 名

#### エ 農業無料職業紹介事業の実施

職業安定法に定める職業紹介事業者として平成 27 年 1 月 1 日付けで厚生労働大臣の許可を得て、県内で求人を希望する経営体の情報を収集するとともに、就農希望者の就農相談とあわせて雇用関係を結ぶための活動を行った。

・法人等求人相談 63 件

・雇用就農相談 26 件

・雇用就農実績 13 件 (内 2 件は紹介)

・事業の広報活動：広報用チラシを作成するとともに、「農の雇用」研修会、農業法人化研修会、農業士・指導農業士会の総会などを通じて紹介し、事業の進展を図った。

#### オ 千葉県立農業大学校との連携

卒業予定者の就農促進を図った。

・学生の雇用就農者 1 名

## 2 販売対策事業

### (1) 農産物販売促進活動の推進

本県農産物の一層の販売促進を図るため、県及び農業団体と一体となって、県園芸品のPR活動や販売活動等を実施した。

## ア 市場でのPR活動

### (ア) 千葉県野菜・果実夏の陣

期 日：平成27年6月23日

場 所：東京都中央卸売市場大田市場

参加団体：県、全農千葉県本部、JA東葛ふたば、JA東葛中央

内 容：・千葉県産夏野菜・果実の試食及び産地関係者の品目PR

(メロン、葉ショウガ)

・千葉県産夏野菜・果実の展示

(上記品目に加え、サヤインゲン、シシトウ、シロウリ等)

### (イ) 千葉県秋冬野菜出陣式

期 日：平成27年11月20日

場 所：東京都中央卸売市場大田市場

参加団体：県、全農千葉県本部、ちばエコ農業生産者協議会、JA長生、

JA山武郡市、JA千葉みらい、JA成田市、JAちば東葛、

JAかとり、JA多古町、JAちばみどり

内 容：・ダイコン、キャベツ、ネギ、トマト、サツマイモ等千葉県産秋冬野菜の展示及び試食

・ちばの野菜伝道師・若手生産者と知事による青果物のPR

### (ウ) 千葉県春野菜試食展示会

期 日：平成28年2月12日

場 所：東京都中央卸売市場大田市場

参加団体：県、全農千葉県本部、JAとうかつ中央、東葛飾農業事務所

内 容：・菜の花、葉たまねぎ等、地域特産野菜の試食・展示

・あじさいネギのタレ等、加工品の展示、PR

## イ 「ちばエコ農産物」の認証に係る現地確認等業務（県委託事業）

当協会で、「ちばエコ農業」に関する指導・助言等を行う「ちばエコ農業」推進アドバイザー（29名）を登録し、県が実施する「ちばエコ農産物」の認証業務のうち、現地確認業務等を実施した。

(ア) 地域審査会への参画：29名

(イ) 現地確認：353件（個人）499件（産地）

合計852件（昨年比108%）

## ウ 国産花きイノベーション推進事業の実施

県産花きの需要拡大を図るため、生産や流通、販売に係る関係者と千葉県花き振興地域協議会を組織し、下記の活動を行った。

(ア) 県フラワーフェスティバルでの花文化展示(H27.12.25~H28.1.11 三越千葉店)

(イ) 県産花き需要シンポジウムの開催(H28.1.10 三越千葉店)

(ウ) 県農林総合研究センター公開デーでの植木伝統樹芸の実演(H27.11.14 千葉市)

- (エ) 小中学校等での花育体験の実施(H27.6~H28.2 45回 3,117名)
- (オ) 成田国際空港での花植木展示(H28.1.15~H28.2.29 第1ターミナル、第2ターミナル計3回)

## エ バイヤー招へい商談会開催業務(県委託事業)

県産農産物の取扱いに関心を持つマレーシア及びシンガポールの食品バイヤーを千葉県へ招へいし、日本梨やさつまいも等の県内産地を案内し、生産者等から直接情報提供することにより、県内農産物に対する理解の増進を図った。  
また、県内生産者団体や食品企業等との商談会を設定し、マッチングを推進することにより、タイ向けの県産品輸出促進を図った。

### (ア) 招へい者

- ・マレーシア  
JMG トレーディング、ヴィレッジ・グロッサー、亀すし
- ・シンガポール  
明治屋シンガポール有限公司

### (イ) 日程

平成27年8月19日(水)~21日(金)

### (ウ) 視察先

銚子漁港魚市場、(株)ゆう屋、JAかとり栗源集送センター、JAいちかわ船橋梨選果場

### (エ) 商談会参加団体

芳源マッシュルーム(株)、(株)ワキュウトレーディング、(株)アイ・エイチ・エス、東薫酒造(株)、(株)諏訪商店、全農千葉県本部、(株)和郷、千葉県漁連、(株)利左エ門、(株)柏森正、(株)生産者連合デコポン

## オ 知事トップセールスに係る農林水産ミッションへの参加

### (ア) 目的

マレーシアにおける知事トップセールスへの参加による梨を中心としたPR活動と、シンガポール共和国における県産農産物の輸出促進に向けたオール千葉での仕組み構築のための現地での意見交換及び視察等

### (イ) 日程

平成27年8月31日(月)~9月7日(月)

### (ウ) 実施内容

全農千葉県本部、県農協中央会、JAバンク、県園芸協会のオール千葉体制で農業ミッション団を結成、下記事業を実施

- ・マレーシアにおける千葉フェアに参加(森田知事とともに)

平成27年9月1日(火)、場所:三井アウトレットパーククアラルンプール  
国際空港セパン

森田知事から今回の訪問に際して、千葉県が農業県であること、特に現在、旬を迎えている梨についてPR、併せて試食等を実施

- ・ 県産農産物の輸出促進に係る仕組みの構築に向けた現地検討会及び視察等を実施  
平成27年9月2日（水）～6日（日）

JMG トレーディング本社訪問による意見交換及び現地スーパーの視察さらに  
全農シンガポール事務所訪問及び明治屋シンガポール有限公司の視察など

## （2）6次産業化推進事業

農林漁業の6次産業化を推進するため、6次産業化を目指す農林漁業者へのサポート体制を整備し、6次産業化ネットワークの構築に向けた推進協議会や研修会・交流会を開催するとともに、新商品開発・販路開拓等の取組に対して支援した。

### ア 人材育成研修会の開催

#### （ア）基礎研修会

6次産業化を目指す生産者等を現場でサポートするための人材を育成するため、基礎研修会を県下3か所（木更津会場、山武会場、佐倉会場）で開催し、県・市町村・JAの担当者が参加した。

開催日：平成27年7月7日（火）・8日（水）・16日（木）

#### 内 容

- ・ 総合化事業計画作成の要点について
- ・ 千葉県6次産業化推進方策等について
- ・ 6次化ファンドの活用について

#### （イ）ビジネス講座

6次産業化に取り組もうとする生産者や既に取組を開始した事業者を対象に、必要な情報・知識の習得や課題解決に資する講座を開催し、事業化の定着を図った。

- ・ 開催日 平成27年11月26日（木）千葉県 ホテルプラザ菜の花  
テーマ1 『6次産業化における効果的なIT利用法』（参加者33名）  
テーマ2 『ブランディング力を高める「物語」の作り方』（参加者32名）
- ・ 開催日 平成27年12月1日（火）千葉県 ホテルプラザ菜の花  
テーマ3 『加工食品製造と品質保証』（参加者41名）  
テーマ4 『6次産業化におけるリスクマネジメント』（参加者41名）

### イ 交流会の開催

「サツマイモで考える6次産業化」をテーマに、交流会を開催した。

- ・ 開催日 平成28年2月3日（水）千葉県 県教育会館
- ・ 内 容
  - ・ 地域活性化の事例報告（多古町、香取市の各グループ）
  - ・ サツマイモの活用戦略に関する講演（白ハトグループ）
  - ・ 参加者が開発した加工品を囲みでの情報交換
- ・ 参加者 県内各地の事業計画者、JA、行政・金融機関ほか 91名

### ウ 農林漁業者等へのサポート活動

担当者を配置し、農林漁業者からの相談対応、案件発掘、情報発信等を行った。

また、6次産業化に精通するプランナー12名を選定・登録して農林漁業者等に派遣した。

- ・法認定に向けた総合化事業計画の作成支援 17件（延べ60回）
- ・認定事業体のフォローアップ活動 7件（延べ23回）

### 3 食育促進事業

#### (1) 千葉の農産物「クリアファイル」等の作成配布

食育活動が地域に根ざした継続的な取組として定着するよう、各地域での食育活動に取り組む小学校を対象とした教育機関や生産者団体等に対し、県産農産物を紹介した印刷資材や教材等を提供し、支援した。

（対象）教育関係（保育園、幼稚園、小学校、中学校）、生産者団体や食生活改善グループ、市町村等 5,000部作成配布

（実施団体）26団体（市町村21団体、小学校5団体）

#### (2) 食育イベントへの参画

- ・千葉県農林総合研究センター「公開デー」への出展

休日を活用し、多くの一般消費者が集う「公開デー」に参加し、子供を対象とした食育関連のクイズを実施するとともに、さつまいもを代表に本県産農産物のPRを行った。

開催日 平成27年11月14日（土）

場 所 千葉県農林総合研究センター

来場者数 1,400人（食育クイズ参加者300人）

### 4 情報活動事業

#### (1) 協会ホームページを開設

情報の共有・交流を促進することにより、業務運営の透明化及び適正化を図った。

ア 開設 平成26年6月から

イ 公開内容

- ・協会全般 協会定款、役員名簿、会員名簿、平成27年度事業計画及び予算、平成26年度事業報告及び決算等
- ・生産情報・流通情報
- ・農地情報 農地中間管理事業の内容、推進状況等

#### (2) 機関紙「千葉の園芸」の発行

園芸技術情報誌「千葉の園芸」を毎月作成・発行し、技術情報や優良産地の取組事例などを紹介し、情報交流を促進した。

ア 発行日 毎月1日

イ 発行の方法

- ・協会ホームページへの掲載
- ・紙媒体での作成 発行部数 300部/月

ウ 配付先 会員、県内の生産者、卸売市場関係者、行政関係部署、農業高校、県立図書館等

### Ⅲ 野菜価格補償事業（公益目的事業２）

#### 1 平成 27 年度の青果物に係る生産・販売概況

平成 27 年度当初の青果物価格は、天候不順や乾燥の影響から生育・肥大が遅れたこと等から入荷量が減少し、露地野菜を中心に前年を上回った。6 月には関東地方で平年より 5 日早い 6 月 3 日に梅雨入りをした。梅雨前線が活発になったものの、全般に遅れ気味だった生育も回復し、キャベツ、レタス、だいこん、にんじん、きゅうり等で入荷量が前年を上回った。また、価格についても前月から引き続き堅調であった。

7 月に入り県産野菜の多くは終盤を迎え、主要品目の産地は高冷地、東北、北海道に移行したが、主産地となる東北地方の少雨・高温の影響から出荷減となり、前月に引き続いて高水準で維持した。8 月～10 月は天候不良による品薄等の影響により、前年の価格を上回った。11 月の入荷量は豊作型となった前年並みとなり、潤沢な入荷から単価安となった。

年明け以降の入荷量は、1 月に入ってから寒波の影響等による生育の停滞から概ね前年並みになった。1 月後半以降の価格は次第に上向き始め、2 月以降は前年を上回る品目（にんじん、ねぎ、ほうれんそう、きゅうり等）が多くなった。

#### 2 交付金の交付状況（事業年度ベース）

##### （1）千葉県青果物価格補償事業

補償交付金 35,251,108 円を交付した。品目別の交付金は以下のとおり。

キャベツ	1,795,387 円	ねぎ	3,102,939 円
ごぼう	2,259,310 円	ほうれんそう	592,747 円
だいこん	0 円	レタス（結球）	203,735 円
トマト	496,745 円	わけぎ	3,437,175 円
にんじん	261,759 円	サラダ菜	23,101,311 円
		小計	35,251,108 円

##### （2）特定野菜等供給産地育成価格差補給事業

###### ア 特定野菜供給産地育成価格差補給事業

価格差補給交付金 9,744,542 円を交付した。品目別の交付金は以下のとおり。

かぶ	42,809 円	ブロッコリー	4,445,192 円
そらまめ	488 円	ながいも以外のやまのいも	0 円
にら	5,256,053 円		
		小計	9,744,542 円

## イ 指定野菜供給産地育成価格差補給事業

価格差補給交付金 14,609,577 円を交付した。品目別の交付金は以下のとおり。

夏秋キャベツ	371,733 円	冬春トマト	0 円
冬キャベツ	6,939,022 円	夏秋きゅうり	1,606,650 円
春だいこん	1,860,025 円	冬にんじん	2,606,578 円
冬春ミニトマト	1,225,569 円		
		小計	14,609,577 円

## 3 研修会の開催

### (1) 平成 27 年度野菜価格安定対策事業説明会（第 1 回）

ア 期 日：平成 27 年 7 月 30 日（木）

イ 場 所：全農千葉県本部 営農技術センター 研修室

ウ 参集範囲：JA

エ 参加人数：42 名

オ 内 容：野菜価格安定対策事業の概要及び事務手続き等について説明会を行った。

### (2) 平成 27 年度野菜価格安定対策事業説明会（第 2 回）

ア 期 日：平成 27 年 9 月 1 日（火）

イ 場 所：山武市成東文化会館のぎくプラザ

ウ 参集範囲：JA、市町村、大規模生産者、農業事務所等

エ 参加人数：41 名

オ 内 容：野菜価格安定対策事業の概要及び加工・業務用野菜生産基盤強化事業について説明会を行った。

## 4 調査事業の実施

独立行政法人農畜産業振興機構の依頼を受けて、県産主要野菜の生育及び出荷状況を的確に把握するための状況調査を行った。

### (1) 対象品目

ねぎ

### (2) 協力産地

JA ちばみどり

### (3) 実施状況

平成 27 年 6 月から平成 28 年 3 月まで合計 5 回実施した。

### (4) 実施内容

JA ちばみどりへのヒアリングや栽培ほ場の写真撮影等を行った。

## 5 加工・業務用野菜生産基盤強化事業の実施

本事業は加工・業務用野菜の推進を図るための国庫事業であり、生産・流通構造改革の取組や作柄安定のための取組を一体的に行うとともに、対象契約に従って

長期的・安定的に出荷を行う産地を対象に定額の面積払により支援するものである。

平成 27 年度は JA きみつが申請したことから、当協会及び農業事務所等の関係機関で一体的に支援を行った結果、採択に至った。

**(1) 申請者**

JA きみつ

**(2) 対象品目**

キャベツ (5~6 月、11~4 月)

**(3) 対象面積**

36.6ha

**(4) 取組期間**

平成 28 年度~30 年度

#### IV 農地中間管理事業（公益目的事業3）

担い手への農地集積・集約化や耕作放棄地の解消を加速するため、農地所有者と農業経営者の間に立って農地の貸借等を行い、農地の集団化、経営規模の拡大、新規参入を図ることを目的に、県の指導の下、公益社団法人千葉県園芸協会（農地中間管理機構 以下「機構」という）が次の事業を実施した。（「農地中間管理事業の推進に関する法律」に基づく事業）

##### 1 農地の借受（農地中間管理権の取得）、借受農地の貸付、借受農地の管理の状況

###### （1）実績

（単位：件、ha、千円）

区分	農地		
	件数	面積	賃料
借受	1,353	794	94,624
うち転貸	1,333		93,670
	277	786	93,670
うち管理	20	8	954

※上段は出し手件数、下段は受け手件数を記載

###### （2）実施状況

###### ア 支部設置

県内に5名の支部駐在を新たに設置し、よりきめ細かな推進を行うなど、現場と密着した取組みを図った。

###### イ 事業の見直し

- ・公募期間を随時募集とした（平成26年度は8月と12月の年2回）。
- ・意向の確認などマッチング方法の見直しを行った。
- ・物納を認めないと集積・集約化が進まない場合に、その限定された地域内に限り例外的に物納を認めた。
- ・農用地等の略図作成廃止等の事務の簡素化を図った。

###### ウ 実績

集積実績面積は平成26年度の21haに比べて、約37倍の786haとなった。

###### エ 特徴

集積面積のうち約8割が地域でまとまった形での集積であった。

集積のタイプは次のとおりである。

- （ア）営農組織が核：8件
- （イ）ほ場整備地区：4件
- （ウ）地域のリーダーが核：1件

## 2 一部業務の委託状況

機構は業務の一部を市町村、法人及び土地改良区に委託し、関係者の総力で農地集積、耕作放棄地対策を推進した。

### (1) 委託先及び委託内容

委託先	委託内容
15市町村 2法人 1土地改良区 (我孫子市、八街市、印西市、富里市、栄町、香取市、多古町、横芝光町、長生村、館山市、木更津市、君津市、富津市、いすみ市、一宮町、成田市農業センター、南房総農業支援センター安房中央土地改良区)	①相談窓口 ②出し手・受け手の掘り起こし ③借受予定農用地の現地確認 ④出し手・受け手との交渉 ⑤契約事務支援

### (2) 委託費の総額

精算額 : 15,349,007円

## 3 担い手等との意見交換会開催状況

### (1) 県全体又は広域での開催

#### ア 対象者：千葉県農林水産就業者説明会における新規就農者

日時：平成27年11月23日(月) 9:50~15:00

場所：きぼーる13F 千葉市ビジネス支援センター

参集：5名

#### イ 対象者：一般社団法人千葉県農業協会稲作部会会員

日時：平成27年12月16日(水) 15:30~16:45

場所：プラザ菜の花 4F「榎」

参集：16名

#### ウ 対象者：印旛、山武地域の担い手

日時：平成28年1月20日(水) 14:00~16:00

場所：印旛合同庁舎 4F第5会議室

参集：32名

### (2) 各農業事務所管内での開催

#### ア 対象者：県内各地域の担い手

期日：平成27年4月から平成28年3月

実施回数：226回

参加延べ人数：2,528人

## 4 事業推進に関する会議等

### (1) 本部と支部との会議

ア 機構の役員・本部職員が、現地で農地集積のコーディネートを行う機構支部農地活用推進員と毎月打合せを行い、実績を確認した。

イ 各支部における問題点・課題等を解決し、農地流動化に向けて適切に進行管理した。

- ・物納の取扱いについて
- ・借賃の支払方法について
- ・事務手続き、資料の簡素化について

これらの課題については平成28年度からそれぞれ対応することとした。

### (2) 県・関係機関との会議

開催日	内容	参集者、担当（延べ人数）
4/7・5/11 12/24	【千葉県農地利用集積担当者会議】 ・事業概要、推進体制の整備	125名 担当31名
5/11	【全体説明会】 ・役割分担、事業・事務の変更点	179名 担当11名
5/12～5/21	【地域農地利用集積推進協議会】 ・事業概要、推進目標の共有	10地区10農業事務所 担当10名
6/3・11/11 2/9	【千葉県農地利用集積推進本部会議】 ・事業の進行管理、取組計画の確認	80名 担当6名
7/16	【千葉県農地利用集積推進協議会】 ・事業の概要、関係団体への協力要請	24名 担当3名
10/16～11/11	【市町村担当者等との意見交換会】 ・農地中間管理事業の進捗等	50市町村 担当5名

### (3) 新聞紙面広告の掲載

ア 目的：農業者及び土地持ち非農家等への農地中間管理事業の周知

イ 掲載日：平成28年3月31日（木）

ウ 掲載紙：①読売新聞 ②千葉日報 ③日本農業新聞

## 5 評価委員会の開催

### (1) 期 日：平成27年6月25日（木）

場 所：きぼーる15F 会議室4

参 集：千葉県農地・農村振興課

### (2) 評価委員による意見

- ・事業推進には平坦地や中山間地などの地域の状況を踏まえ、地域の実情に応じた進め方を考える必要がある。

- ・地域情報を取りまとめていく農地活用推進員の強化が重要である。
- ・農地集積・集約化を通じて、経営の効率化や規模拡大などにより、どうやって農業所得を確保するのかについて考える必要がある。
- ・県が推進している「人・農地プラン」の策定・見直しと連動し、地域の合意形成関係機関とともに進めてほしい。

## 6 関連事業

### (1) 農地耕作条件改善事業

すでに区画が整備されている農地の担い手等への農地集約を図るために必要な場合は、畦畔除去等による区画の拡大や暗渠排水等の簡易な整備を実施する。

- ・平成27年度の実績はなかった。

## 7 その他事業

### (1) 地域資源活用に向けてのフォーラム（公益目的事業共通）

#### ア 目的

力強い産地づくりを推進するため、農業者だけでなく日頃農業情報に触れる機会の少ない都市部の土地持ち非農家などの一般県民へも参加を呼びかけ、耕作放棄地の解消・再生利用、農地の効率利用、高収益園芸農業の推進、有害鳥獣対策、地域の活性化等地域の抱える課題への取組の確認と、周知を行うフォーラムを開催した。

併せて、農地中間管理事業による農地の貸出しを呼びかけるなど、農地中間管理機構の活用をPRした。

#### イ 期日等

日 時：平成28年2月7日（日） 13：30～

場 所：ホテルポートプラザちば

参加延べ人数：82名

#### ウ 実施内容

- (ア) 市原市における企業による耕作放棄地の再生活用
- (イ) 地域資源を活用したジビエ加工品の開発
- (ウ) 放牧による耕作放棄地活用



## (2) 農地売買支援事業（農業経営基盤強化促進法）（収益事業）

### ア 農地売買等事業

離農又は経営転換する者の農地を機構が買い入れ、売り渡す事業。

- ・平成27年度の実績はなかった。

### イ 旧農地保有合理化事業

経営規模の縮小を考えている農家や農業をやめることを考えている農家から、機構が農地を借りて経営規模拡大を考えている農家に貸す事業。

	地権者	耕作者	筆数	面積
合計	125人	71人	388筆	670,974 m <sup>2</sup>

※貸借期間が残っているもの。H33年度期間満了。

### ウ 空港関連事業

空港周辺農用地の買入れ、売渡し、管理、貸付け及び代替地の管理、譲渡等については、管理、貸付けのみ実施した。

#### (ア) 管理

	筆数	面積
合計	122筆	161,954 m <sup>2</sup>

#### (イ) 貸付け（上記管理面積の内）

	耕作者	筆数	面積
合計	19人	42筆	67,817 m <sup>2</sup>

## V 組織力強化対策事業（共益事業）

### 1 組織活動支援事業

県内生産者の組織化を促進することにより、経営力の向上を図るとともに、安定した品質での園芸農産物の供給力を高めるため、生産から販売面までの生産者の自主的組織活動を支援した。

#### （１）事業の支援内容

- ・消費拡大事業（産品の理解促進、イベントの開催、出展、共進会等）
- ・担い手対策事業（研修会、講演会等）
- ・各種連合会の部会活動の推進

#### （２）実施内容

##### ア 野菜関係組織活動推進事業

事業名	期日	場所
秋冬野菜出陣式(トップセールス)	平成 27 年 11 月 20 日	東京都大田市場
マルチ土壌消毒機実用検討会	平成 27 年 11 月 20 日	県農林総合研究センター
ネギ収穫機視察研修会	平成 28 年 1 月 19 日	長柄町ネギ生産ほ場
春野菜試食展示会	平成 28 年 2 月 12 日	東京都大田市場
ちばの園芸技術展示会	平成 28 年 2 月 23 日	園芸協会種苗センター
重粘土水田の排水対策研修会	平成 28 年 3 月 2 日	いすみ市
ネギブランド化視察研修会	平成 28 年 3 月 10 日	栃木県
販売拡大資材作成配布	12,000 部作成	県内産地

##### イ 果樹関係組織活動推進事業

事業名	期日	場所
千葉なし生産販売対策会議	平成 27 年 7 月 21 日	千葉市
なし販売促進資材作成	平成 27 年 7 月	ポスター6000 部 ポップ 1000 部
かんきつ研修会	平成 27 年 7 月 2 日 平成 27 年 10 月 15 日 平成 28 年 2 月 18 日	館山市 館山市 館山市
なし研究部研修会	平成 27 年 4 月～ 平成 28 年 1 月	千葉市
現地研究会	平成 27 年 6 月 18 日 平成 27 年 10 月 20 日	千葉市 千葉市

	平成 28 年 1 月 27 日	千葉市
びわ研修会	平成 27 年 9 月 18 日	館山市
千葉なし出荷反省会	平成 27 年 11 月 17 日	千葉市
なし研究部代表者会議	平成 28 年 3 月 4 日	千葉市
食育活動	平成 27 年 5 月～ 平成 28 年 2 月	5 地区

#### ウ 花き関係組織活動推進事業

事業名	期日	場所
花き生産改善研修会	平成 27 年 5 月 22 日	館山市
IFEX2015 への出展	平成 27 年 10 月 12 日～ 14 日	千葉市 幕張メッセ
花き流通改善研修会	平成 27 年 11 月 3 日	千葉市
第 36 回千葉県フラワーフェスティバル	平成 28 年 1 月 7 日～11 日	千葉市 千葉三越店
消費拡大事業：花き市場巡回	平成 28 年 2 月 1 日～5 日	東京都大田花きほか 5 市場
第 65 回関東東海花の展覧会	平成 28 年 2 月 12 日～ 14 日	東京都 池袋サンシャインシティ文化会館
各種部会活動の推進	随時 カーネーション部会、ばら部会、球根切花部会、鉢物部会、洋ラン部会	県下全域

#### エ 植木関係組織活動推進事業

事業名	時期	場所
紅くじゃく現地研修会	平成 27 年 6 月 17 日	県農林総合研究センター
植木生産改善講習会	平成 27 年 10 月 8 日	県立農業大学校
第 43 回千葉県植木共進会	平成 27 年 10 月 21 日～ 25 日	匝瑳市

#### オ いちご関係組織活動推進事業

事業名	時期	場所
いちご研修会	平成 27 年年 7 月 15 日 平成 27 年 10 月 30 日	山武市 園芸協会種苗センターほか
原種苗委託増殖事業	平成 27 年 10 月	成田市、長生村
いちご販売促進資材の作成	平成 27 年 11 月	のぼり等

## 2 活動促進事業

以下の団体に取り組む活動を支援し、連携強化を図った。

- (1) 千葉県花き振興地域協議会（協議会活動への運営・支援）
- (2) 千葉県農業会議（賛助員）
- (3) 千葉県農業用廃プラスチック対策協議会（会員）

貸借対照表

平成28年 3月31日現在

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金預金	129,692,910	110,796,704	18,896,206
未収金	4,109,141	6,354,575	△ 2,245,434
販売用農地(空港関連農地)	875,503,428	875,503,428	0
流動資産合計	1,009,305,479	992,654,707	16,650,772
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産合計			
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	7,357,230	6,106,990	1,250,240
青果物価格補償事業引当資産	530,711,410	479,267,137	51,444,273
事業円滑化積立資産	150,000,000	150,000,000	0
特定資産合計	688,068,640	635,374,127	52,694,513
(3) その他固定資産			
機械装置	1,524,773	1,445,392	79,381
合理化事業 長期未収金	564,000	582,000	△ 18,000
合理化事業 農地賃借料一括前払	535,672	1,174,464	△ 638,792
保証金	22,000	22,000	0
外部出資金	350,000	350,000	0
その他固定資産合計	2,996,445	3,573,856	△ 577,411
固定資産合計	691,065,085	638,947,983	52,117,102
資産合計	1,700,370,564	1,631,602,690	68,767,874
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
未払金	31,456,570	32,609,936	△ 1,153,366
未払費用	4,472,181	3,764,512	707,669
預り金	233,920	625,625	△ 391,705
未払法人税等	214,500	70,000	144,500
1年以内返済予定合理化事業長期借入金	0	638,792	△ 638,792
流動負債合計	36,377,171	37,708,865	△ 1,331,694
2. 固定負債			
農業開発公社清算費用借入金	114,000,000	116,000,000	△ 2,000,000
合理化事業 長期借入金	535,672	535,672	0
退職給付引当金	7,357,230	6,106,990	1,250,240
青果物価格補償事業預り金	530,711,410	479,267,137	51,444,273
農地預り金	789,421,049	789,421,049	0
預り保証金	285,672	285,672	0
固定負債合計	1,442,311,033	1,391,616,520	50,694,513
負債合計	1,478,688,204	1,429,325,385	49,362,819
<b>III 正味財産の部</b>			
1. 指定正味財産			
地方公共団体助成金	150,000,000	150,000,000	0
指定正味財産合計	150,000,000	150,000,000	0
(うち基本財産への充当額)			
(うち特定資産への充当額)	(150,000,000)	(150,000,000)	(0)
2. 一般正味財産	71,682,360	52,277,305	19,405,055
(うち基本財産への充当額)			
(うち特定資産への充当額)			
正味財産合計	221,682,360	202,277,305	19,405,055
負債及び正味財産合計	1,700,370,564	1,631,602,690	68,767,874

貸借対照表（内訳表）

平成28年 3月31日現在

（単位：円）

科目	公益目的事業 会計	収益事業等 会計	法人会計	合計
<b>I 資産の部</b>				
1. 流動資産				
現金預金	58,148,670	20,418,897	51,125,343	129,692,910
未収金	4,109,141	0	0	4,109,141
販売用農地(空港関連農地)	0	875,503,428	0	875,503,428
流動資産合計	62,257,811	895,922,325	51,125,343	1,009,305,479
2. 固定資産				
(1) 基本財産	0	0	0	0
基本財産合計	0	0	0	0
(2) 特定資産				
退職給付引当資産	0	0	7,357,230	7,357,230
青果物価格補償事業引当資産	530,711,410	0	0	530,711,410
事業円滑化積立資産	0	0	150,000,000	150,000,000
特定資産合計	530,711,410	0	157,357,230	688,068,640
(3) その他固定資産				
機械装置	1,524,773	0	0	1,524,773
合理化事業 長期未収金	0	564,000	0	564,000
合理化事業 農地賃借料一括前払	0	535,672	0	535,672
保証金	22,000	0	0	22,000
外部出資金	0	350,000	0	350,000
その他固定資産合計	1,546,773	1,449,672	0	2,996,445
固定資産合計	532,258,183	1,449,672	157,357,230	691,065,085
資産合計	594,515,994	897,371,997	208,482,573	1,700,370,564
<b>II 負債の部</b>				
1. 流動負債				
未払金	30,862,223	0	594,347	31,456,570
未払費用	4,302,956	0	169,225	4,472,181
預り金	0	0	233,920	233,920
未払法人税等	0	214,500	0	214,500
流動負債合計	35,165,179	214,500	997,492	36,377,171
2. 固定負債				
農業開発公社清算費用借入金	0	114,000,000	0	114,000,000
合理化事業 長期借入金	0	535,672	0	535,672
退職給付引当金	0	0	7,357,230	7,357,230
青果物価格補償事業預り金	530,711,410	0	0	530,711,410
農地預り金	0	789,421,049	0	789,421,049
預り保証金	0	285,672	0	285,672
固定負債合計	530,711,410	904,242,393	7,357,230	1,442,311,033
負債合計	565,876,589	904,456,893	8,354,722	1,478,688,204
<b>III 正味財産の部</b>				
1. 指定正味財産				
地方公共団体助成金	0	0	150,000,000	150,000,000
指定正味財産合計	0	0	150,000,000	150,000,000
(うち基本財産への充当額)				
(うち特定資産への充当額)			(150,000,000)	(150,000,000)
2. 一般正味財産	51,527,233	△ 2,364,050	22,519,177	71,682,360
(うち基本財産への充当額)				
(うち特定資産への充当額)				
正味財産合計	51,527,233	△ 2,364,050	172,519,177	221,682,360
負債及び正味財産合計	617,403,822	902,092,843	180,873,899	1,700,370,564

## 正味財産増減計算書

(平成27年 4月 1日から平成28年 3月31日まで)

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
<b>I 一般正味財産増減の部</b>			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益計	654,404	0	654,404
受取会費計	44,388,160	45,222,220	△ 834,060
事業収益計	11,356,322	5,835,242	5,521,080
受取補助金等計	86,001,915	42,646,000	43,355,915
受取負担金計	4,500,000	4,500,000	0
雑収益計	258,347	1,800,453	△ 1,542,106
受取受託金	67,933,012	62,873,495	5,059,517
受取交付金	12,500,000	12,500,000	0
経常収益計	227,592,160	175,377,410	52,214,750
(2) 経常費用			
事業費計	197,605,661	119,322,249	78,283,412
管理費計	10,366,944	35,342,557	△ 24,975,613
経常費用計	207,972,605	154,664,806	53,307,799
評価損益等調整前当期経常増減額	19,619,555	20,712,604	△ 1,093,049
当期経常増減額	19,619,555	20,712,604	△ 1,093,049
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
その他の経常外収益			
過年度損益修正益	0	12,593,638	△ 12,593,638
その他の経常外収益計	0	12,593,638	△ 12,593,638
経常外収益計	0	12,593,638	△ 12,593,638
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	12,593,638	△ 12,593,638
税引前当期一般正味財産増減額	19,619,555	33,306,242	△ 13,686,687
法人税、住民税及び事業税	214,500	70,000	144,500
当期一般正味財産増減額	19,405,055	33,236,242	△ 13,831,187
一般正味財産期首残高	52,277,305	19,041,063	33,236,242
一般正味財産期末残高	71,682,360	52,277,305	19,405,055
<b>II 指定正味財産増減の部</b>			
受取補助金等	0	150,000,000	△ 150,000,000
当期指定正味財産増減額	0	150,000,000	△ 150,000,000
指定正味財産期首残高	150,000,000	0	150,000,000
指定正味財産期末残高	150,000,000	150,000,000	0
<b>III 正味財産期末残高</b>	<b>221,682,360</b>	<b>202,277,305</b>	<b>19,405,055</b>

正味財産増減計算書内訳表

平成27年 4月 1日から平成28年 3月31日まで

(単位:円)

科目	公益目的事業会計				収益事業等会計			法人会計	合計
	公益目的事業 会計(共通)	生産振興対策 事業(公1)	野菜価格安定 事業(公2)	農地中間管理 事業(公3)	小計	農地売買支援事業 (収益事業)	組織力強化対策 事業(共益事業)		
I 一般正味財産増減の部									
1. 経常増減の部									
(1) 経常収益									
特定資産運用益									
特定資産受取利息								654,404	654,404
特定資産運用益計								654,404	654,404
受取会費									
正会員受取会費	10,984,080	10,500,000			21,484,080			21,484,080	42,968,160
賛助会員受取会費	710,000				710,000			710,000	1,420,000
受取会費計	11,694,080	10,500,000			22,194,080			22,194,080	44,388,160
事業収益									
農地賃貸料収益				5,482,002	5,482,002	898,227		898,227	6,380,229
農地管理収益						4,756,605		4,756,605	4,756,605
空港農地直接経費収益						219,488		219,488	219,488
事業収益計				5,482,002	5,482,002	5,874,320		5,874,320	11,356,322
受取補助金等									
受取国庫補助金				74,164,915	74,164,915				74,164,915
受取県補助金		9,742,000		0	9,742,000	2,095,000		2,095,000	11,837,000
受取補助金等計		9,742,000		74,164,915	83,906,915	2,095,000		2,095,000	86,001,915
受取負担金									
価格補償事業運営費			4,500,000		4,500,000				4,500,000
受取負担金計			4,500,000		4,500,000				4,500,000
雑収益									
受取利息		1,595	207,029	761	209,385	3,267		3,267	10,679
雑収益									35,016
雑収益計		1,595	207,029	761	209,385	3,267		3,267	45,695
受取県受託金	1,393,200	65,229,989	1,309,823		67,933,012				67,933,012
受取受託金	1,393,200	65,229,989	1,309,823		67,933,012				67,933,012
受取県交付金		12,500,000			12,500,000				12,500,000
受取交付金		12,500,000			12,500,000				12,500,000
経常収益計	13,087,280	97,973,584	6,016,852	79,647,678	196,725,394	7,972,587		7,972,587	227,592,160
(2) 経常費用									
事業費									
役員報酬		1,399,200	1,399,200	5,150,220	7,948,620	370,980		370,980	8,319,600
給料手当	1,589,896	53,007,740	3,239,857	32,406,761	90,244,254	1,281,938		1,281,938	91,526,192
臨時雇賃金		5,728,112		1,418,025	7,146,137				7,146,137
退職給付費用		422,070		316,683	738,753	40,487		40,487	779,240
法定福利費	182,447	8,026,248	613,893	4,759,055	13,581,643	214,448		214,448	13,796,091
福利厚生費		230,482	8,383	100,909	339,774	9,980		9,980	349,754
旅費交通費	1,742,124	1,670,250	79,106	1,701,334	5,192,814	9,040		9,040	5,201,854
通信運搬費	540	1,216,197	131,498	460,482	1,808,717	73,844		73,844	1,882,561
通信広告料(事業)				1,630,314	1,630,314				1,630,314
機械装置減価償却費(事業)		425,411			425,411				425,411
備品費(事業)		526,932			526,932	617,868		617,868	1,144,800
消耗什器備品費	93,636	888,543	3,159	18,954	1,004,292				1,004,292
消耗品費	140,472	2,029,621	113,871	5,379,586	7,663,550	111,341		111,341	7,774,891
修繕費		1,539,510			1,539,510				1,539,510

印刷製本費	71,280	1,200,636	129,600	909,576	2,311,092					2,311,092
資材費		1,890,905			1,890,905					1,890,905
会議費	114,322	508,921	14,766	23,243	661,252					661,252
光熱水道費		3,373,575		90,600	3,464,175					3,464,175
賃借料	529,790	3,460,907	106,640	3,453,029	7,550,366	129,657		129,657		7,680,023
諸謝金	116,500	7,324,456			7,440,956					7,440,956
報償費				52,000	52,000					52,000
租税公課		1,200			1,200	219,040		219,040		220,240
支払負担金		30,000			30,000	300,000	295,000	595,000		625,000
支払助成金							983,000	983,000		983,000
委託費		6,137,769	684,802	15,713,085	22,535,656	36,802		36,802		22,572,458
農地賃借料				5,482,002	5,482,002	898,227		898,227		6,380,229
農地支払利息						7,051		7,051		7,051
雑費	8,364	407,979	64,800	291,678	772,821	23,812		23,812		796,633
事業費計	4,589,371	101,446,664	6,589,575	79,357,536	191,983,146	4,344,515	1,278,000	5,622,515	0	197,605,661
管理費										
役員報酬									2,798,400	2,798,400
給料手当									2,515,813	2,515,813
退職給付費用									471,000	471,000
法定福利費									1,866,340	1,866,340
福利厚生費									59,269	59,269
会議費									79,825	79,825
旅費交通費									225,464	225,464
通信運搬費									536,829	536,829
消耗什器備品費									12,636	12,636
消耗品費									615,782	615,782
印刷製本費									50,446	50,446
賃借料									635,109	635,109
租税公課									94,000	94,000
委託費									157,121	157,121
雑費									248,910	248,910
管理費計									10,366,944	10,366,944
経常費用計	4,589,371	101,446,664	6,589,575	79,357,536	191,983,146	4,344,515	1,278,000	5,622,515	10,366,944	207,972,605
評価損益等調整前当期経常増減額	8,497,909	△ 3,473,080	△ 572,723	290,142	4,742,248	3,628,072	△ 1,278,000	2,350,072	12,527,235	19,619,555
当期経常増減額	8,497,909	△ 3,473,080	△ 572,723	290,142	4,742,248	3,628,072	△ 1,278,000	2,350,072	12,527,235	19,619,555
2. 経常外増減の部										
(1) 経常外収益										
経常外収益計										
(2) 経常外費用										
経常外費用計										
当期経常外増減額										
他会計振替額	1,705,251				1,705,251	△ 1,705,251		△ 1,705,251		0
税引前当期一般正味財産増減額	10,203,160	△ 3,473,080	△ 572,723	290,142	6,447,499	1,922,821	△ 1,278,000	644,821	12,527,235	19,619,555
法人税、住民税及び事業税						214,500		214,500		214,500
当期一般正味財産増減額	10,203,160	△ 3,473,080	△ 572,723	290,142	6,447,499	1,708,321	△ 1,278,000	430,321	12,527,235	19,405,055
一般正味財産期首残高	22,611,110	△ 7,906,112	31,250,658	△ 875,922	45,079,734	△ 1,169,765	△ 1,624,606	△ 2,794,371	9,991,942	52,277,305
一般正味財産期末残高	32,814,270	△ 11,379,192	30,677,935	△ 585,780	51,527,233	538,556	△ 2,902,606	△ 2,364,050	22,519,177	71,682,360
II 指定正味財産増減の部										
当期指定正味財産増減額										
指定正味財産期首残高									150,000,000	150,000,000
指定正味財産期末残高									150,000,000	150,000,000
III 正味財産期末残高	32,814,270	△ 11,379,192	30,677,935	△ 585,780	51,527,233	538,556	△ 2,902,606	△ 2,364,050	172,519,177	221,682,360

## 財産目録

平成28年 3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
<b>(流動資産)</b>				
	現金預金	千葉銀行県庁支店 他	運転資金のため	129,692,910
	未収金	千葉県 (3件) 香取市 (1件)	県補助金、委託金及び市町村への事業委託費の未収金	4,109,141
	販売用農地(空港関連農地)		収益事業の販売用農地	875,503,428
流動資産合計				1,009,305,479
<b>(固定資産)</b>				
基本財産				
				0
特定資産				
	退職給付引当資産	千葉銀行県庁支店	職員に対する退職給付金の引当資産	7,357,230
	青果物価格補償事業引当資産	千葉銀行県庁支店	価格補償事業における事業資金の引当資産	61,711,410
		農林中央金庫千葉支店	価格補償事業における事業資金の引当資産	469,000,000
	事業円滑化積立資産	千葉県債	財政基盤の強化と事業効率化のための事業円滑化引当資産	100,000,000
		千葉みらい農業協同組合	財政基盤の強化と事業効率化のための事業円滑化引当資産	50,000,000
その他固定資産				2,996,445
	機械装置	機械装置(4台)	公益目的保有財産であり、公益目的事業の用に供している	1,524,773
	合理化事業 長期未収金	農地年払事業貸付金1件	収益事業における農地保有合理化事業のための資産	564,000
	合理化事業 農地賃借料一括前払	一括前払い事業貸付金3件	収益事業における農地保有合理化事業のための資産	535,672
	保証金	千葉県自治体職員福祉センター	公益目的事業における駐車場利用のための借用保証金	22,000
	外部出資金	全国農地保有合理化協会債務補償事業出資金	収益事業に関連した保証金	350,000
固定資産合計				691,065,085
資産合計				1,700,370,564
<b>(流動負債)</b>				
	未払金	千葉県、関係市町村 等	補助金返還、市町村への業務委託費等	31,456,570
	未払費用	職員	嘱託職員及び日々雇用職員の3月分給与	4,472,181
	預り金	千葉東税務署、関係市町村	源泉所得税、住民税	233,920
	未払法人税等	千葉東税務署、千葉市	法人税	214,500
流動負債合計				36,377,171
<b>(固定負債)</b>				
	農業開発公社清算費用借入金	千葉県	農業開発公社の清算債務の借入金	114,000,000
	合理化事業 長期借入金	全国農地保有合理化協会	収益事業における農地保有合理化事業のための借入金	535,672
	退職給付引当金	千葉銀行県庁支店	職員に対する退職給付金の引当金	7,357,230
	青果物価格補償事業預り金	千葉県、全農千葉県本部、農畜産産機構 他	価格補償事業における基金造成基金	530,711,410
	農地預り金	農用地 芝山町他3市 (122筆)	収益事業の空港関係販売用農地	789,421,049
	預り保証金	預かり保証金 2件	収益事業における農地保有合理化事業貸付保証金	285,672
固定負債合計				1,442,311,033
負債合計				1,478,688,204
正味財産				221,682,360

## 財務諸表に対する注記

### 1. 会計基準

公益法人会計基準（平成 20 年 4 月 11 日・内閣府公益認定等委員会）を採用している。

### 2. 重要な会計方針

#### (1) 固定資産の減価償却の方法

固定資産については、定率法により減価償却を行っている。

#### (2) 引当金の計上基準

退職給付引当金については、職員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき、当期末に発生していると認められる額を計上している。なお、退職給付債務は、期末自己都合要支給額に基づいて計算している。

#### (3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

### 3. 基本財産及び特定資産の増減及びその残高

基本財産及び特定資産の増減及びその残高は、次のとおりである。

単位：円

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
基本財産引当資産	0	0	0	0
小計	0	0	0	0
特定資産				
退職給付引当資産	6,106,990	1,250,240	0	7,357,230
青果物価格補償事業引当資産	479,267,137	51,444,273	0	530,711,410
事業円滑化積立事業引当資産	150,000,000	0	0	150,000,000
小計	635,374,127	52,694,513	0	688,068,640

### 4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

単位：円

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に対応 する額)
1. 基本財産				
基本財産引当資産	0	( 0)	( 0)	( 0)
小計	0	( 0)	( 0)	( 0)
2. 特定資産				
退職給付引当資産	7,357,230	( 0)	( 0)	(7,357,230)
青果物価格補償事業引当資産	530,711,410	( 0)	( 0)	(530,711,410)
事業円滑化積立事業引当資産	150,000,000	(150,000,000)	( 0)	( 0)
小計	688,068,640	(150,000,000)	( 0)	(538,068,640)

※青果物価格補償事業引当資産に係るその他注記、及び以下の資金等内訳については、別途資料により説明。

- (1) 平成 27 年度野菜価格安定事業に係る資金内訳
- (2) 平成 27 年度野菜価格安定事業に係る資金造成計画総括表
- (3) 平成 27 年度野菜価格安定事業の特別業務資金に係る内訳

## 5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

単位：円

科目	種類	数量	関連事業	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
機械装置	ニプロ 掘取機	1 台	種苗	312,120	94,577	217,543
	ニプロ ロータリー	1 台	種苗	658,800	199,627	459,173
	バロネス ハンマーナイフモア	1 台	種苗	509,760	154,465	355,295
	ウッドチッパー	1 台	種苗	504,792	12,030	492,762
合計		4 台	—	1,985,472	460,699	1,524,773

## 6. 補助金等の内訳及び交付者

補助金等の内訳及び交付者については、次のとおりである。

単位：円

補助金等名称	交付者	当期末残高
補助金		
園芸産地強化・連携支援事業補助金	千葉県	9,742,000
農地中間管理事業補助金	国及び千葉県	74,164,915
農地売買支援事業	千葉県	2,095,000
小計		86,001,915
交付金		
千葉新規就農等支援事業	千葉県	12,500,000
小計		12,500,000

## 7. 退職給付関係

- (1) 退職給付債務及びその内訳

単位：円

退職給付引当金	7,357,230 円	正職員 6 名に対する退職給付積立
---------	-------------	-------------------

- (2) 引当金の計算の基礎に関する事項

退職給付債務の計算に当たっては、期末自己都合要支給額を基礎として計算している。

＜参考1＞平成27年度 野菜価格安定事業に係る資金内訳(会計年度ベース)

(平成28年3月31日時点の資金残高の内訳)

事業名	園芸協会に 造成されている金額 (県・全農・JA分)	(参考)		備考
		(独)農畜産業振興機構に 造成されている金額 (国費分)	合計	
千葉県青果物価格補償事業	303,974,422 円		303,974,422 円	
特定野菜供給産地育成価格差補給事業	142,889,623 円	72,378,005 円	215,267,628 円	
指定野菜供給産地育成価格差補給事業	53,418,868 円	53,418,871 円	106,837,739 円	
特別業務資金	30,428,497 円		30,428,497 円	
合計	530,711,410 円		656,508,286 円	

<参考2>平成27年度 野菜価格安定事業に係る資金造成計画総括表(事業年度ベース)

1 千葉県青果物価格補償事業

対象野菜	出荷期間 (月)	予約数量	交付準備金 造成額	事業開始前 交付準備金 造成額	差引交付準備金 造成額	出荷数量	対象数量	交付金額	事業実施後 資金造成額
		① (kg)	② (円)	③ (円)	④(②-③) (円)	⑤ (kg)	⑥ (kg)	⑦ (円)	⑧(②-⑦) (円)
キャベツ	5.1~7.31	698,000	13,143,340	8,208,102	4,935,238	788,240	698,000	1,795,387	11,347,953
	10.1~12.31	170,000	3,131,400	2,645,103	486,297	126,550	0	0	3,131,400
	小計	868,000	16,274,740	10,853,205	5,421,535	914,790	698,000	1,795,387	14,479,353
ごぼう	10.1~12.31	88,000	5,218,400	2,721,952	2,496,448	53,570	53,470	1,712,711	3,505,689
	1.1~3.31	117,000	7,718,490	6,367,559	1,350,931	17,700	16,630	546,599	7,171,891
	小計	205,000	12,936,890	9,089,511	3,847,379	71,270	70,100	2,259,310	10,677,580
だいこん	4.1~6.30	1,025,000	24,907,500	18,629,409	6,278,091	599,422	0	0	24,907,500
	10.1~12.31	18,000	325,800	276,981	48,819	2,010	0	0	325,800
	小計	1,043,000	25,233,300	18,906,390	6,326,910	601,432	0	0	25,233,300
トマト	5.1~6.30	119,000	6,971,020	3,998,845	2,972,175	466,227	0	0	6,971,020
	7.1~7.31	118,000	7,577,960	6,958,433	619,527	62,408	62,408	496,745	7,081,215
	小計	237,000	14,548,980	10,957,278	3,591,702	528,635	62,408	496,745	14,052,235
にんじん	6.1~7.31	232,000	8,600,240	8,240,610	0	333,760	232,000	261,759	8,338,481
ねぎ	4.1~6.30	492,200	36,319,438	27,380,187	8,939,251	491,565	452,260	894,779	35,424,659
	7.1~9.30	243,500	18,637,490	13,901,281	4,736,209	151,100	146,280	1,177,387	17,460,103
	10.1~12.31	204,500	12,511,310	10,351,590	2,159,720	217,280	174,033	979,723	11,531,587
	1.1~3.31	79,000	5,088,390	1,126,516	3,961,874	238,818	74,180	51,050	5,037,340
	小計	1,019,200	72,556,628	52,759,574	19,797,054	1,098,763	846,753	3,102,939	69,453,689
ほうれんそう	4.1~6.30	0	0	631,860	0	0	0	0	0
	9.1~12.31	45,000	4,407,750	7,511,976	0	36,754	22,606	592,747	3,815,003
	1.1~3.31	45,000	3,880,350	6,402,578	0	41,647	0	0	3,880,350
	小計	90,000	8,288,100	14,546,414	0	78,401	22,606	592,747	7,695,353
レタス(結球)	4.1~5.31	78,000	3,405,480	2,336,782	1,068,698	76,878	0	0	3,405,480
	11.1~12.31	30,000	1,146,600	1,270,314	0	35,890	30,000	34,013	1,112,587
	1.1~3.31	102,000	6,681,000	5,420,919	1,260,081	83,080	65,870	169,722	6,511,278
	小計	210,000	11,233,080	9,028,015	2,328,779	195,848	95,870	203,735	11,029,345
わけぎ	4.1~5.31	98,950	14,052,879	9,908,854	4,144,025	73,592	73,592	761,015	13,291,864
	11.1~12.31	104,350	14,456,649	9,915,948	4,540,701	71,359	71,359	2,676,160	11,780,489
	3.1~3.31	48,500	7,674,155	5,598,306	2,075,849	36,788	0	0	7,674,155
	小計	251,800	36,183,683	25,423,108	10,760,575	181,739	144,951	3,437,175	32,746,508
サラダ菜	4.1~6.30	312,000	27,340,560	19,105,766	8,234,794	237,913	0	0	27,340,560
	7.1~9.30	296,000	38,773,040	24,300,019	14,473,021	227,842	227,842	10,431,719	28,341,321
	10.1~12.31	224,000	29,912,960	17,404,737	12,508,223	193,954	193,954	9,074,784	20,838,176
	1.1~3.31	233,000	32,981,150	30,770,346	2,210,804	189,838	189,838	3,594,808	29,386,342
	小計	1,065,000	129,007,710	91,580,868	37,426,842	849,547	611,634	23,101,311	105,906,399
合計		5,221,000	334,863,351	251,384,973	89,500,776	4,854,185	2,784,322	35,251,108	299,612,243

2 特定野菜等供給産地育成価格差補給事業

(1) 特定野菜等供給産地育成価格差補給事業

対象野菜	出荷期間 (月)	予約数量	交付準備金 造成額	事業開始前 交付準備金 造成額	差引交付準備金 造成額	出荷数量 (kg)	対象数量 (kg)	交付金額	事業実施後 資金造成額
		① (kg)	② (円)	③ (円)	④(②-③) (円)			⑦ (円)	⑧(②-⑦) (円)
かぶ	4.1~6.30	50,000	1,029,000	1,009,107	19,893	60,600	34,190	36,258	992,742
	10.1~12.31	50,000	1,058,000	959,722	98,278	123,845	36,790	6,551	1,051,449
	小計	100,000	2,087,000	1,968,829	118,171	184,445	70,980	42,809	2,044,191
そらまめ	5.1~7.31	44,000	2,465,320	2,450,159	15,161	222,304	25,916	488	2,464,832
にら	5.1~6.30	189,000	9,644,670	6,655,570	2,989,100	170,504	140,648	691,943	8,952,727
	7.1~10.31	353,000	26,457,350	22,592,405	3,864,945	326,148	276,164	1,057,125	25,400,225
	11.1~2.28	115,000	14,224,350	13,550,289	674,061	101,420	95,484	3,468,137	10,756,213
	3.1~4.30	186,000	14,176,920	13,255,680	921,240	172,864	145,968	38,848	14,138,072
小計	843,000	64,503,290	56,053,944	8,449,346	770,936	658,264	5,256,053	59,247,237	
ブロッコリー	10.1~12.31	100,000	5,712,000	896,862	4,815,138	163,236	100,000	4,149,767	1,562,233
	1.1~3.31	38,000	2,170,560	1,375,310	795,250	23,789	22,692	295,425	1,875,135
	小計	138,000	7,882,560	2,272,172	5,610,388	187,025	122,692	4,445,192	3,437,368
ながいも以外の やまのいも	4.1~6.30	310,000	32,063,300	32,063,300	0	330,224	0	0	32,063,300
	7.1~10.31	514,000	52,063,060	52,063,060	0	467,630	0	0	52,063,060
	10.1~12.31	435,000	41,755,650	41,755,650	0	397,794	0	0	41,755,650
	1.1~3.31	187,000	18,389,580	18,389,580	0	229,570	0	0	18,389,580
	小計	1,446,000	144,271,590	144,271,590	0	1,425,218	0	0	144,271,590
合計		2,571,000	221,209,760	207,016,694	14,193,066	2,789,928	877,852	9,744,542	211,465,218

## (2) 指定野菜等供給産地育成価格差補給事業

対象野菜	出荷期間	予約数量	交付準備金 造成額	事業開始前 交付準備金 造成額	差引交付準備金 造成額	出荷数量	対象数量	交付金額	事業実施後 資金造成額
		① (kg)	② (円)	③ (円)	④(②-③) (円)	⑤ (kg)	⑥ (kg)	⑦ (円)	⑧(②-⑦) (円)
夏秋キャベツ	7.1~10.31	2,533,000	44,555,470	21,307,608	23,247,862	1,569,320	1,563,720	371,733	44,183,737
冬キャベツ	11.1~12.31	1,350,000	23,476,500	10,346,472	13,130,028	640,910	640,910	6,323,819	17,152,681
	1.1~3.31	50,000	1,155,000	1,047,000	108,000	42,840	27,610	615,203	539,797
	小計	1,400,000	24,631,500	11,393,472	13,238,028	683,750	668,520	6,939,022	17,692,478
春だいこん	4.1~6.30	660,000	13,754,400	10,385,616	3,368,784	412,740	364,934	1,860,025	11,894,375
冬春ミニトマト	5.1~6.30	54,000	5,570,100	5,570,100	0	46,930	0	0	5,570,100
	11.21~2.28	46,000	6,342,940	6,342,940	0	58,066	46,000	1,225,569	5,117,371
	3.1~4.30	44,000	6,516,400	6,516,400	0	37,662	0	0	6,516,400
	小計	144,000	18,429,440	18,429,440	0	142,658	46,000	1,225,569	17,203,871
冬春トマト	5.1~6.30	168,000	8,433,600	6,071,100	2,362,500	168,440	0	0	8,433,600
夏秋きゅうり	10.1~11.30	31,000	2,147,060	1,748,870	398,190	51,285	31,000	1,606,650	540,410
冬にんじん	11.1~12.31	35,000	685,650	539,700	145,950	13,650	13,650	92,654	592,996
	1.1~3.31	175,000	4,455,500	1,816,622	2,638,878	176,640	175,000	2,513,924	1,941,576
	小計	210,000	5,141,150	2,356,322	2,784,828	190,290	188,650	2,606,578	2,534,572
合計		5,146,000	117,092,620	71,692,428	45,400,192	3,218,483	2,862,824	14,609,577	102,483,043

## <参考3>平成27年度 野菜価格安定事業の特別業務資金に係る内訳

### 1 千葉県青果物価格補償事業

No	項目	金額 (県・全農・JA分)	備考
①	平成26年度末 残高	15,199,419円	
②	平成27年度 積立分	24,753,189円	
③	平成27年度 返戻分	35,920,344円	
	平成27年度末 残高	4,032,264円	①+②-③

### 2 特定野菜等供給産地育成価格差補給事業

#### (1) 特定野菜供給産地育成価格差補給事業

No	項目	金額 (県・全農・JA分)	備考
①	平成26年度末 残高	30,659,724円	
②	平成27年度 積立分	0円	
③	平成27年度 返戻分	4,263,491円	
	平成27年度末 残高	26,396,233円	①+②-③

#### (2) 指定野菜供給産地育成価格差補給事業

No	項目	金額金額 (県・全農・JA分)	備考
①	平成26年度末 残高	0円	
②	平成27年度 積立分	0円	
③	平成27年度 返戻分	0円	
	平成27年度末 残高	0円	①+②-③